第24回　ALOS-2/4観測運用調整会議
資料2-3

ALOS-4の運用状況

報告対象期間：2026年1月19日～2026年7月19日

2026年10月15日

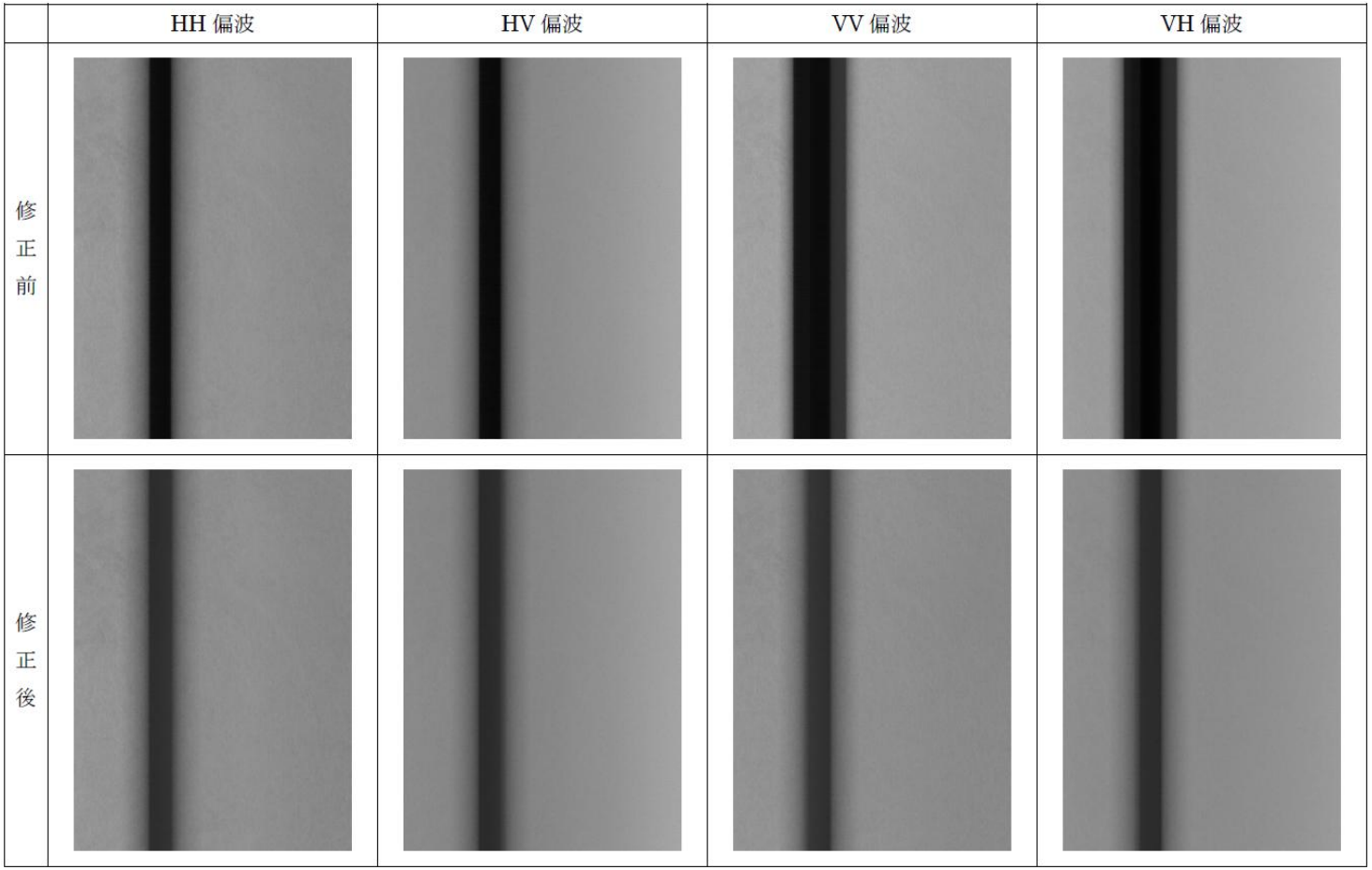
国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構
第一宇宙技術部門
先進レーダ衛星プロジェクトチーム

2.3.1. ALOS-4の運用サマリ

- 2025年4月1日より定常観測運用を実施中。
- 各協定・共同研究ユーザへのデータ配布を開始済み。その他の一般ユーザへはデータ・サービス配布事業者を通して配布開始済み。
- 本報告対象期間（2026/1/19～2027/7/19）において、センサおよび衛星バスは概ね正常に動作している。
- 軌道決定精度も高い水準で推移しており、GPSR切替発生期間や太陽活動の影響を除き、軌道上±500mチューブ内での軌道保持状況は良好に推移している。

2.3.2. PALSAR-3の画質調整状況について

- PALSAR-3画質関連事象について継続的に対処中。
- 進捗状況や詳細はJAXA EORC HPの**「ALOS-4 校正・検証」**のページ及び**「PALSAR-3 標準プロダクトの周知事項」**にて公開中。https://www.eorc.jaxa.jp/ALOS/jp/alos-4/a4_calval_j.htm



フルポラリメトリモードにおけるブラインド幅の画質改善結果の例（2026/9/15にリリース）

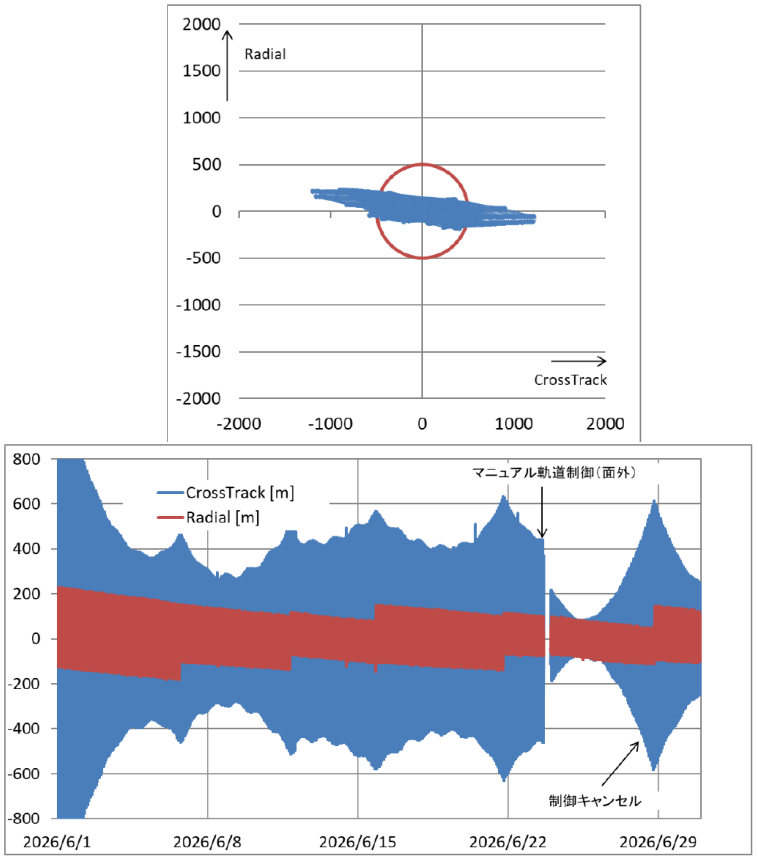
2.3.3. 軌道保持状況

- ALOS-2と同様に、GPSR切替発生期間や面外軌道制御による影響により、一時的にチューブを逸脱するケースが確認されているが、概ね±500mチューブ内で軌道が保持されていることを確認。

【軌道上±500mチューブ内の保持確率】

評価期間	保持確率[%]
2026/1/1～2026/6/30	100.00※
【参考】 ※事象を含めた場合 （2026/6/1～2026/6/30）	90.80

※デブリ回避運用や面外軌道制御、GPSR切替発生期間を除く



ALOS-4軌道保持状況
（ 2026/6/1～2026/6/30 ）

2.3.5. 今後の主な運用イベント

ALOS-4観測運用に関係する今後の衛星イベントは以下のとおり。

✓ センサ定期校正運用（年4回）： 次回 2026年1月予定
次々回 2026年4月予定

観測停止期間
- 1回の校正運用につき、4日間実施。最終日に観測停止期間が発生。
- 観測停止期間は半日程度。具体的な期間が確定次第アナウンス予定。

✓ 面外自律軌道制御（年2回）： 次回2026年12月予定

2.3.6. その他周知事項

■ AUIG4におけるデータの非公開/注文キャンセルについて

・衛星の観測停止やその他データの欠損に伴い、AUIG4上におけるデータカタログの非公開や注文の自動キャンセルが発生する場合がある。

AUIG4における注文の自動キャンセルについて

AUIG4にてALOS-2/ALOS-4の観測データをご注文いただいた際に、注文がキャンセルされる場合がございます。
主な理由は、以下の2つです。

01



観測の停止に伴う提供不可

衛星の運用中に発生した異常により、ご注文いただいたエリアの観測が実施されなかった場合、データを提供することができないため、システム側で注文が自動キャンセルされます。

例 ・衛星機器の異常　・地上システムの異常　・地上局の異常

02



データ処理の異常に伴う提供不可

取得されたデータの品質等に起因し、処理ソフトウェアでの処理にて異常が発生した場合、データを提供することができないため、システム側で注文が自動キャンセルされます。

例 ・データの欠損/破損　・ノイズによる品質異常

自動キャンセルされた注文については、原則**再注文いただくことはできません**。何卒ご理解賜りますようお願い致します。
その他、個別のご不明点につきましてはAUIG4 お問い合わせ窓口（Z-AUIG4_support@ml.jaxa.jp）までお問い合わせください。

2.3.6. その他周知事項

■ 処理ソフトウェアの主な更新履歴

- 2026/2/10
  ver105.102をリリース（広域観測モードの輝度ムラ（ビーム1及び2）の解消＋アンテナパターンの更新）
- 2026/3/17
  ver105.103をリリース（校正係数の更新）
- 2026/8/18
  ver107.103をリリース（シーン指定方法が「ユーザ定義」の際に発生する中心座標の位置ずれ事象の解消 ）
- 2026/9/15
  ver108.103をリリース（フルポラリメトリモードにてブラインド幅が広がる事象の解消）

更新履歴の詳細はAUIG4上で公開中。
https://auig4.jaxa.jp/app/static/operation_info/ALOS-4%E5%87%A6%E7%90%86%E3%82%BD%E3%83%95%E3%83%88%E3%82%A6%E3%82%A7%E3%82%A2%E3%83%90%E3%83%BC%E3%82%B8%E3%83%A7%E3%83%B3_20260915.pdf

2.3.6. その他周知事項

■ PALSAR-3 標準プロダクトの周知事項（処置中案件（その1））

- AUIG4およびJAXA EORCのHP上にて公開中。
  https://www.eorc.jaxa.jp/ALOS/jp/alos-4/pdf/PALSAR-3_StandardProductInformation_JP.pdf

Table 1 PALSAR-3 標準プロダクトの周知事項（処置検討中の案件、更新日：2026/09/15）(1/2)

No.	タイトル	事象概要	ステータス	対象観測モード／条件
1	プロダクト作成不可	注文したプロダクトの作成が完了せず、提供されない。（AUIG4 のプロダクト提供要求履歴でステータスが更新されない）	処置検討中	すべて
2	偽像ノイズの発生	一部の画像において、偽像ノイズが強く多重に発生する。PRF 可変観測モード設定時にのみ発生する。詳細は以下の EORC ALOS-4 校正検証 Web サイトを参照。 →偽像ノイズを低減するための地上処理ソフトウェアの改修版(バージョン番号 103.101)を 2025/12/5 にリリースした。依然偽像ノイズが残る場合があるが、過去データに関しても本バージョンで再処理することでノイズは低減する。 https://www.eorc.jaxa.jp/ALOS/jp/alos-4/pdf/ALOS4ProductNotes01_VPRF_Ja_20251212.pdf	処置検討中	高分解能、広域観測
3	電離層補正モード（オンボード）の運用不可	初期校正検証運用中の調整の際に発生した制約により、電離層補正モード（オンボード）が運用できない。	処置検討中	高分解能／電離層補正（オンボード）
4	衛星進行方向の線状ノイズ	一部の画像において、衛星進行方向の線状のノイズが見られる。PRF 固定観測モードでは発生しない。※後頁 Fig.1 参照。	処置検討中	高分解能、広域観測
5	広域観測モード画像のムラ	・広域観測モードのサブスワス画像間および衛星進行方向に画像のムラが見られる。 →画像のムラを解消するために、地上システムの設定変更を実施（ビーム番号 2 は 2025/9/10、ビーム番号 1、3 は 2025/11/18 に実施）。設定変更後の観測画像のムラは、パラメータ更新後のソフトウェアにて処理することで解消される（ビーム番号 1,2 は更新済み、ビーム番号 3 は 2026 年度中に更新予定）。	2026 年度中処置完了予定	広域観測
6	フルポラリメトリ観測時のクロス偏波画像（HV、VH）のノイズ	一部のシーンにおいて、フルポラリメトリ観測時の HV および VH 画像において、ノイズが含まれた画像が生成される。 →ノイズを解消するために地上システムの設定を 2025/12/3 に変更した。本変更に付随して発生していたブラインド幅の拡がり（※後頁 Fig.4 参照）を解消するための改修版ソフトウェアを 2026/9/15 にリリース済み。本リリース以降に注文すれば、2025/12/3 以降の観測データは、ブラインド幅の拡がりが解消されたものを取得できる。 ※2025/12/3 以前の観測データは、ノイズが含まれた画像が生成されるため要注意。	2026/9/15 処置完了	高分解能／PRF 固定観測

2.3.6. その他周知事項

■ PALSAR-3 標準プロダクトの周知事項（処置中案件（その2））

Table 2 PALSAR-3 標準プロダクトの周知事項（処置検討中の案件、更新日：2026/09/15）(2/2)

No.	タイトル	事象概要	ステータス	対象観測モード／条件
7	スポットライトモード画像に生じている偽像ノイズ	一部のスポットライトモードの画像において、偽像ノイズが発生する。	処置検討中	スポットライト
8	基準軌道逸脱データの基線長計算結果異常	AUIG4 上で基準軌道を逸脱した期間のデータを対象に干渉ペア候補を検索すると、表示される基線長（Bperp）の値が実際と異なる場合がある。	処置検討中	すべて
9	AUIG-4 プロダクト検索結果における高度 0m 表示	非ゼロの高度を指定して観測要求したにも関わらず、当該プロダクトを AUIG-4 で検索すると、高度が 0m と表示されてしまう場合がある。AUIG-4 の検索結果の画面表示における問題であり、実データとしては問題ない。 →当該プロダクトについて、高度を 0m ではなく空欄で表示するように 2026/8/4 に地上ソフトウェアを改修済み。	処置検討中	スポットライト

2.3.6. その他周知事項

■ PALSAR-3 標準プロダクトの周知事項（周知案件（その1））

Table 2 PALSAR-3 標準プロダクトの周知事項（処置完了・予定なしの案件、更新日：2026/05/26）(1/2)

No.	タイトル	事象概要	ステータス	対象観測モード／条件
1	PRF 固定観測モード設定時の画像異常（フルポラリメトリ）	PRF 固定観測モードのフルポラリメトリの画像において、白色・黒色の画像やプロダクト作成不可になるシーンが発生する場合がある。	2025/10/3 処置完了	高分解能、広域観測／PRF 固定観測
2	シーン矩形の描画異常	L2.1 で注文・処理し、処理完了後に AUIG4 でカタログ検索すると、地図上に描画されるシーン矩形が平行四辺形ではなく、三角形に近い台形に崩れてしまう場合がある。処理パラメータがジオリファレンス設定のときのみ発生し、ジオコード設定時には発生しない。	2025/12/5 処置完了	高分解能
3	シーン幅の異常	一部の PRF 固定観測モードの画像において、ニア側またはファー側のサブビームのシーン幅が拡がってしまうことがある。※後頁 Fig.2 参照。	2025/12/12 処置完了	高分解能／PRF 固定観測
4	シーン幅が狭くなってしまう	PRF 固定観測において、観測不可領域（ブラインド）がレンジ端に発生した場合、当該サブビームのシーン幅が狭くなる場合がある。再生されていない画像範囲はブラインド領域であり、格納データは正常である。※後頁 Fig.3 参照。 →解析データが該当するかどうかは、以下の EORC ALOS-4 観測計画 Web サイト「PALSAR-3 PRF 固定観測モード時のブラインドマップ」からご確認ください。 https://www.eorc.jaxa.jp/ALOS/jp/alos-4/a4_observation_j.htm	周知事項	PRF 固定観測
5	プロダクトのピクセル強度が 0 以下になってしまう	AUIG4 からプロダクトを注文するときにリサンプリング方法として CC44 や CC66 を選択すると、DN 値が 0 以下になってしまう場合がある。 ※リサンプリングの原理（アンダーシュート）により発生する事象。	周知事項	すべて
6	バースト間におけるシーン幅の差異	広域観測モードのバースト間でシーン幅が異なる場合がある。高度に応じてレンジ開始時刻に違いが生まれるために発生する事象であり、データとしては正常である。なお、L1.1 プロダクトでは上記開始時刻を揃える処理を実施しているため、発生しない。※後頁 Fig.5 参照。	周知事項	広域観測モード（バースト方式）/L1.5、L2.1

2.3.6. その他周知事項

■ PALSAR-3 標準プロダクトの周知事項（周知案件（その2））

Table 2 PALSAR-3 標準プロダクトの周知事項（処置完了・予定なしの案件、更新日：2026/05/26）(2/2)

No.	タイトル	事象概要	ステータス	対象観測モード／条件
7	外来不要波による画像ノイズ	地上からの外来不要波が強い場合、プロダクト処理の中で除去しきれず、画像にノイズが生じる場合がある。※後頁 Fig.6 参照。	周知事項	すべて
8	電離層擾乱による画像ノイズ	電離層擾乱の影響により、画像に線状ノイズが生じる場合がある。※後頁 Fig.7 参照。	周知事項	すべて
9	ブラウズ画像が表示されない	AUIG-4 のプロダクト検索画面の詳細パネルにおいて、「ブラウズ画像の有無」を「有り」に設定しているにもかかわらず、ブラウズ画像が表示されない場合がある。当該再生 ID を再注文することで、事象は解消される。	周知事項	すべて